



曲名 糸

中島みゆき 作詞・作曲
佐井孝彰 編曲

この曲は！

1998年にリリースされた中島みゆきさんの代表曲の一つです。多くのアーティストによってカバーされ、CMやテレビドラマ、映画などで使用されたことをきっかけに、より広く知られるようになりました。「キミウタ」では「混合二部合唱」として、佐井孝彰さんの美しい編曲となっています。どうぞお楽しみください。

藤原式練習法

まずメロディーを存分に味わって歌ってみてください。パートとか男女とか学年とか世代とか、もっと言えば子どもたちと先生とか関係なく、まずはみんなでこのメロディーを1度しっかりと歌ってみてほしいと思います。

具体的なアドバイス・ポイント

よく知られているメロディーを歌うときこそ、音程を意識しながら、楽譜に書いてあるリズムで正しく歌う練習をしてみるとよいでしょう。「どこにいたの」とメロディーが下から上行する際、常に同じエネルギーで声が出せるよう意識することも大切です。「どこにいたの」では声部が2つに分かれますが、「ふたつの物語」で、またすぐユニゾンに戻っていきます。このユニゾンと二部合唱というハーモニーの違いを一人一人が毎回感じながら歌うことで、すてきな二部合唱がつかれると思います。また、全員で1つのパートを歌う練習をするのも非常に効果的です。例えば2人組をつくって、ソプラノを歌ったらアルト、アルトを歌ったらソプラノというように、お互いのパートを練習するのもよいでしょう。

この曲を 初めて歌う人に

まずはなんといっても詩がすばらしいので、歌詞を声に出して読んでみてください。特に、サビの感動的な部分を深く味わい、のびやかに歌ってほしいと思います。縦書き歌詞を1行ずつリレーで読んでみるのもよいでしょう。朗読の段階でもお互いの声を聞き合い、一人一人の声の出し方を知ることは合唱をするうえで大切なことで、合唱での声づくりにつながっていくこともできます。

表現を深めよう

この曲は有節形式*を取っていますが、1番と2番で合唱としてのつくり込み方が違います。佐井孝彰さんのアレンジの自然な魅力が、歌う人、聴く人に語りかけているようです。2番のメロディーの中にあるヴォカリーズを大切にしてください。1番と2番との変化をつけることが、表現を深めていくことにつながります。また、2声の旋律の絡み合いこそが、この曲のテーマである「縦」と「横」で「私」と「あなた」なのかもしれません。
*有節形式：次々と進む歌詞に対して、ひとつの旋律を何度も繰り返すように曲が付けられているもの。

より感動的に 歌い上げるための アドバイス

「歌いたい」というそのまっすぐな気持ち大切です。みんなで心の底から声を出してほしいと思います。時には大切な人に語るように、時には切ない気持ちを歌い上げるように、大好きな人に届くように、そんな純粋な気持ちを存分に表現してみてください。エンディングに「人は仕合せと」と語ります。この曲の中で1度だけ rit. が入り、4分の2拍子が挿入されます。ここを美しく歌えると、より感動的な合唱となるでしょう。全編を優しく包み込むピアノと温かい声の融合、すてきに感じてくださいね。